

■理事長コラム

雑感 一平成の終わりにあたってー

■仲間自治会 NEWS

■相談支援事業

生活保護は最後の砦

■就労継続B型 ここに NEWS

こっからの畑で、ハトムギを

■居宅支援 NEWS

うたひ、くらひ、わらひ おなかい～ばい!

■生活介護 こっから NEWS

温かくて嬉しい体験

■日帰り旅行

■こっから祭

■Topix

■新規事業報告

生活支援のための施設建設を、みんなの力で!

■紙すき栽培日記より

諦めかけたけど…。植物の生命力に感動!

■こっから17年目のリニューアル

■寄贈

ありがとうございました!

■編集後記



Column

雑 感

—平成の終わりにあたって—

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤井 正紀

今年、4月末をもって“平成”が終わり、新しい元号が始まるようです。こぶしの会の運動と歴史を振り返って見ると、前半の15年間が作業所時代、後半の15年間が社会福祉法人としての活動になり、そういう意味では、こぶしの会は“平成”という時代とともに歩んで来たと言えると思います。今後の新グループホームの運営と経営という障害者の皆さんの生活に責任を持つためにも、改めて“平成”と“こぶしの会”の歴史を振り返ってみるのも大切な事ではないでしょうか。

こぶしの会の前身は、二つの無認可作業所「かすが」と「のぞみの家」で、15～6名の仲間が通っていました。「かすが共同作業所」の設立が“平成元年”で、「のぞみの家」が“平成4年”の設立です。両作業所とも長屋や民家の一部屋で内職仕事を主な内容として運営していました。この狭い二つの作業所で仲間も指導員も仲良く仕事をしていましたが、もっといろんな仕事もしてみたいとか、もっと広いところが欲しい、無認可ではなく法的にもきちんと認められた（法人化）した施設を建設したい等の願いを実現するために、動き出したのが“平成10年”頃でした。実はその1～2年前から奈良市に対して空いている土地や建物を提供してほしいと何度も要請をしたのですが断られ続けていました。そこで自分たちで土地を持ちそこに施設を建設するしか道がないことを思い知り、資金集めと土地探しを行いました。資金計画は総額2億円で自己資金5千万円とし、土地探しは奈良市の全域の10ヵ所以上にあたりました。最終的には現在の古市町の土地約450坪を購入することを決定し、“平成11年”に仮契約をして運動と経営がスタートしました。

その後施設を建設するために県や国との折衝、建物の設計、法人の準備、絵画展などの資金集め、作業所の

移転準備、新施設への入所者募集などを経て、“平成13年”に法人設立と工事の着工を行い、“平成14年”に「こっから」を開所しました。「こっから」開所から今日までがこぶしの会の後半15年間の運営が始まるのですが、その道筋は大変でした。特に“平成15年”に、古い学生アパートを格安で（年間25万円）借りることができ、同時に約1千万円の民間基金も受け、グループホーム「ひまわり」を開所できたのは、ラッキーで大きなことでした。

その後、平成16年に「支援センター」と「ぐうぐうハウス」開所、平成19年に「支援センターふゅーちゃー」、平成22年に「すたあと」を、平成24年に「ここに」を、平成26年に「相談支援センター」を開所など、毎年のように事業を展開してきました。そして平成28年頃より新しいグループホームの土地を藤原町に確保しましたが、これが市街化調整地区で建設ができないことが判明しました。

奈良市とのねばり強い折衝を行い、地元への地域貢献を行うという条件で建設が認められることになり、平成30年に土地を購入することができました。

今後新しい年から、建設の諸準備やホームの建設へと進むことになりますが良い施設ができたかと期待しています。



なかま自治会

こんにちは なかま自治会です。
毎週、自治会費の計算をしたり、行事の話をしたり、
みんなのことを話したりしています。
今年度は、新しいグループホーム建設の話をしました。

2020年4月もしかんせいしたら
グループホームできたらうれしいけど
ふじいさんながかった。なれとなくわかった。
いいべんきようでした。ありがとう

悠二



生活保護は、障害のある人が自分らしく生きるための選択肢、最後の砦。 ～さらなる引下げに不服審査請求運動が提起されています～

この10月からまた生活保護が引下げられました。3年かけて平均1.8%、最大5%の減額です。障害者世帯は一般世帯と比べて受給率は6倍、相談支援の現場でもその厳しさを実感し、必要に応じて移送費などの一時扶助申請を手伝ったりして対応しています。生活保護引下げは保護を受けている人だけの問題ではありません。最低賃金や就学援助、保育料、国民健康保険料や公営住宅の減免基準にも連動し、私たちの生活と大きく関わっています。こぶしの会で新たに建設をすすめているグループホームの家賃設定も、この生活保護の住宅扶助費がベースになっています。憲法25条にある「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するのが生活保護制度であり、障害のある人にとっても自分らしく生きるための大切な選択肢、親亡き後の最後の砦なのです。にもかかわらず、2013年には史上最大の引き下げが行われ、全国で3万件の不服審査請求、原告1000人超の違憲訴訟=いのちのとりで裁

判が関わっています。奈良からも2名の原告が10月16日に第15回目の口頭弁論を行いました。この最中にあってのさらなる引き下げ…社会保障全体を削減する突破口となっているのは間違いありません。今、いのちのとりで全国裁判アクションが不服審査請求を提起しています。関心のある方はご一報ください。

また、きょうされんKSブックレット「障害のある人と生活保護 Live on welfare」(667円+税)もぜひ一読を。

(文責 小針康子)



こっからの畑で、ハトムギを

今年度、「ここに」「すたあと」の新たな試みとして、ハトムギとエゴマの栽培に挑戦しました。

ハトムギは、太陽食品さんのご協力を得て、将来的には有機栽培を展望しつつ「まずは、こっからの畑で育ててみよう」と、40メートルほどの一畝に種を植えました。

畝を作り、マルチを引き、等間隔に種を3粒ずつまきました。

エゴマは、「エゴマ油」の採取を最終目的に、小さな小さな種にそっと土をかぶせました。

残念ながらエゴマは、大雨で種が流れたか、土の中に潜りすぎたかで、芽を出すことがありませんでした。

ハトムギは、今年の猛暑、台風に耐え、こっから祭りのステージ準備が行われる中、収穫を行いました。刈り取った穂から、粒を取り出し、そして黒い粒だけを選別しました。

収穫量は、2.8kg。太陽食品さんからは、とても立派に実がなっているとおほめいただきました。

現在、自家焙煎によるハトムギ茶を開発中です。

先日は、毎週金曜日に行われる「ここすた昼食会」で自家製ハトムギ茶を飲みました。

仲間が育て、仲間が作るハトムギ茶。一からはじめて、自分たちで商品化し、販売し、給料となるという「働く連続性」にワクワクしています。

みなさまにお届けできることを楽しみにしています。（文責 島耕治）



*太陽食品株式会社

すたあとの隣にあるハトムギ健康食品会社。ダイレクトメールの封入作業や、ハトムギ畑の除草作業、ハトムギの選別などの仕事を請け負っています。



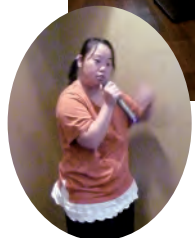
うたひ、くらひ、わらひ おなかい〜っぱい!

8月24日(金)にぐうぐう・ひまわりの合同カラオケ&外食に行きました。

合同での外食はよくあるのですが、カラオケは実に3年ぶりでした。今回は8月からひまわりに新しく仲間も入り、歓迎会を兼ねてのパーリーナイト。それぞれが大好きな曲を選び、ステージ上でのスポットライト中で歌う気分は一流アーティスト!!! 大いに盛り上がりました。2次会(こっちがメイン!?)はスタミナ太郎で焼き肉バイキング。好きなものを好きなだけ食べて至福の時間…。

新しい方も初めての参加でしたが、まるでずーっと前から一緒に生活しているかと誤解してしまいそうな位みんなになじんでおられました。共同で生活していく中で色々ありますがイベントを楽しみながら交流し、絆を深めていきたいなと思った一夜でした。

(文責 竹田悦子)



温かくて嬉しい体験

よく晴れた10月のとある日曜日。こっから隣接地の自治会長様から町内会の懇親会のお誘いをいただきました。この地で活動を始めて16年。仲間代表（仲間自治会員数名）と職員3名で参加させてもらいました。司会の台本だけを職員が作り、後はそれぞれで考えて話してね…って無茶ぶりを敢行。大丈夫だろうか…。すごいぜみんな！心配をよそに仲間は仕事やグループホームの生活を自分たちの言葉で伝えていました。とうふやパンを作っていることやその仕事が難しいって言えるその気持ち。一人暮らしを自分で楽しみ、苦勞しながらも創っていることを伝えられるなんて。みんな聞こえてたかな～？発表に詰まった時に「がんばれー！」って会場から聞こえた声援。舞台への登壇の際に会場から沸き起こった温かい拍手。とってもウエルカムな雰囲気なんとも心地よい。

自治会長様からは、「今度グループホームが同じ町内に建ちますね？」「ご近所さんになるのでお互いよろしくお願いしますね」っ



てご挨拶をいただきました。こっからの仲間がこれから住む地域の方に知ってもらえたのは何より嬉しく、温かく見守ってもらえるなんて。これから少しずつ皆さんと一緒に私たちができることを対話の中から探していきたいなと思えたひと時でした。

誰もが心地よく、それぞれの歩で生活できる地域の一役を担うことができるように仲間と共に活動をしていきたいな。

（文責 梅田玲輔）



日帰り旅行



2018年11月16日（金）、こっからは日帰り旅行に行ってきました。

今年は早めに仲間旅行委員が立ち上がり、行きたい所を話し合い全員が参加できる選挙で決めました。その結果、行き先は名古屋のレゴランドとシーライフ（水族館）に決まりました。

シーライフ組はまず昼食会場へ。名古屋名物のひつまぶしか名古屋コーチンすきやきのどちらかを事前に選び、仲間旅行委員の挨拶のあとみんなていただきます！みなさん一口一口美味しく食べておられました。シーライフではグループに分かれて見学。ヒトデを恐る恐る触ったり、魚の写真を撮ったり、ゆっくり魚や展示を見て回ったりとそれぞれシーライフを満喫。最後はお土産をたくさん買い、みなさん楽しそうでした。

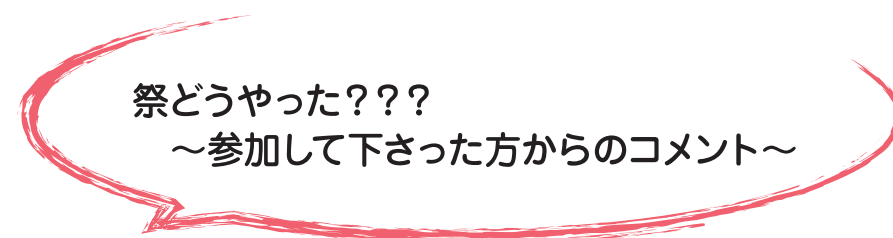
レゴランド組も到着後、グループに分かれて昼食。ハンバーガーやチキンなど、好きなものを選び食べました。園内ではレゴで作った動物や街があり、みんなびっくりでした。友達同士で乗り物に乗ったり、お土産を選ぶ等、思い思いに楽しめたようでした。最後は総勢71名で写真を撮り、奈良へ帰りました。

委員を中心に案内板、しおり作り、お菓子準備をしてすすめてきました。当日は事前準備のおかげでスムーズに行くことができました。来年はどこになるのか今から楽しみです。

（文責 小西桃子）



10/28(日)に第17回こっから祭が開催されました。昨年は台風の影響で中止になったので直前まで実施できるかドキドキしましたが、今年は風が強いものの、暑いくらいに快晴で祭会場は1100人の方で賑わいました。ご来場いただいた皆様、ご出店いただきました皆様、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。また来年のお祭でお会いしましょう。



【視力障害者の生活と権利を守る会 (青空マッサージ) 様】

今回はお天気も良くてたくさんの方に来ていただきました。毎回必ず来て下さる常連の方ともお会いでき、こっからさんと地域の結びつきをいつも感じています。



【図書ボラ「みなくる」様】

「絵本の読み聞かせ」や、「松ぼっくりのけん玉づくり」の体験コーナーに子どもたちがたくさん参加してくれました。今回はわんどく!にも初めてお手伝いに関わり、素晴らしい取り組みで感激しました。私たちの活動でもぜひ広げていきたいと思います。



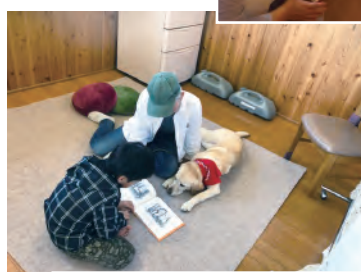
【中西農園 (有田みかん) 様】

今年も完売することができました。毎年こっから祭に参加することを楽しみにしています。今年は台風の被害が大きく、気持ちも落ち込んでいたんですが、みなさんにお会いできて元気ができました。ありがとうございました!



【奈良東病院様 (骨密度検査)】

ブースの場所や時間などは特に問題ありませんでした。沢山の人が来てくれてこちらもうれしかったです。舞台でのブースの宣伝? があったのですが急で何も考えてなかったのが残念です。また来年も宣伝タイムがあるなら早めに教えてもらえるとありがたいです。



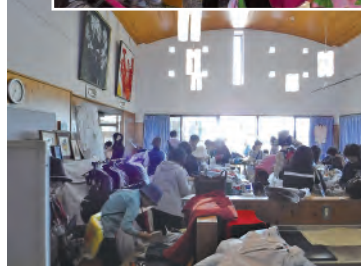
【わんどく! 様】

わんちゃんが、じっと聞いてくれてうれしかった! (参加してくれた男子より) たくさんの方に参加してもらって楽しかった。こっからさんは散歩コースもあり、わんちゃんにもいい環境でした (わんどくサポーターさんより)



【ボズック楽団様】

2年越しのラブコールが実り、今回初めて出演していただきました。チンドンのステージと会場内の練り歩きで祭を大いに盛り上げてくださいました! こっから祭が初舞台というメンバーさんもおられたようで、いい記念になりました。仲間たちの無限の可能性を感じさせてもらったパフォーマンスでした!!



【リサイクルバザー】

今回も開場の1時間前から行列ができる人気振り。お客さんが途切れることなく大盛況でした。今年は例年以上に地域の方々からバザー用品をご提供いただき、過去最高の売上となりました。これらは新しいグループホームの建設資金として大切に活用させていただきます!



7月



板東さんありがとう

調理員の板東さんが7月末で退職されました。おいしい給食ありがとうございました。

9月



スポーツ大会

みんなで手つなぎ鬼・フラフープドリブル・リレーで身体を動かし、いい汗をかきました!

10月



まるごとフェスタ

東市小学校で毎年恒例のお祭り。模擬店おいしかった～!



護国神社で出店

護国神社の秋の大祭でミッからも出店させていただきました。

8月



サツマイモの花

本州では日照時間が長く、ほとんど咲かない珍しい花。咲くのは不作の時に、今年のサツマイモは案の定イマイチの出来でした…。でもそのキレイな姿を見る事が出来たから良しです!

護国神社夏祭り

唐揚げとフランクフルト。天気も良く多くのお客さんにお求めいただきました。



紙すきお菓子作り

差し入れにいただいたおイモさんでおいしいスイートポテトができました。

11月



敬老の集い

ミッからの地域の「敬老の集い」の送迎を少しだけですがお手伝いしました。

祭打ち上げ

今年も無事にお祭りが終わりホッと一息。お肉祭りや～!家族の皆さんありがとうございます。



こじかのひろば

いつもお世話になっている仔鹿園さんのイベントに出店させていただきました。



明治小学校見学

明治小学校から64人の児童さんがミッからの仕事を見学に来てくれました。

皇帝ダリア

台風の影響か、ひっそりながらも、小ぶりながらも、今年もちゃんと咲き誇っています

生活支援のための施設建設を、みんなの力で！

～2019年、新しい年を建設開始の年に～

常務理事 坂 下 伸 一

■着実に進む建設準備

前回の報告（2018年7月の時点）で、「市街化調整区域開発許可」の第1歩である市開発指導課の許可がでる旨の報告をしました。その後は、最終の開発許可そして建設許可にむけて着実に準備が進んでいます。前にも書いたように、最終許可までには「市の開発指導課以外の各課との調整」「農地転用」「風致地区許可」「埋蔵文化財調査」等、本当にたくさんの手続きがあることに、私自身も驚いています。しかし、これらの手続きも何とかクリアできそうで、見通しがもてる状況になっています。また、昨年11月には、建設予定地の取得も行いました。

■建設への地域理解

最近、奈良市のある法人がグループホームを建設しようとしたところ、地域住民の反対を受けて、断念せざるを得なくなったという話を聞きました。当然、こういうことはあってはならないことですが、現実にはまだまだあるようです。では、私たちの施設建設について、建設地のある藤原台を含め古市町に住む人たちは、どう考えているのでしょうか。住民説明会はまだ行っていませんが、住民自治会役員さんとの話し合いでは、大

きな反対はないだろうということです。これは、こぶしの会が、「こっから祭の開催」「地域の祭や清掃ボランティアへの参加」など、地域に根差し、共に歩もうとしてきたことの成果ではないかと思います。そして、そこには家族会を中心にした家族や後援会員のみなさんの力があることも間違いのない事実です。

■今後の建設予定

今後の施設完成までの予定は以下のようになっています。いよいよ今年は建設開始の年です。一層の支援をお願いします。

2018年	
12月	設計図完成
2019年	
1月～2月	土地開発改良工事 施工業者入札、決定
3月～5月	土地開発改良工事实施
6月～8月	建設工事 施工業者入札、決定
9月～	建設開始
2020年	
3月	建設完成

諦めかけたけど…。植物の生命力に感動！



紙すき班では今年の初夏ごろにスイカと安納イモ、フルーツランタン（食用ほおずき）、落花生の苗を買ってきて畑や鉢に植えました。

何ものかに、収穫待ちだったスイカは食べられ、サツマイモは苗を掘り起こされてやられてしまい、フルーツランタンは過酷な暑さで枯れてしまい、どれもこれもうまくいかないものだなあと諦めてました。

しかし、スイカはその後にも花が咲き8月末には小さいものが3つできました。とーっても甘かったです。11月末には落花生を収穫。その際に隣に植えていた安納イモは小さいものでしたが2つできていました。そしてフルーツランタンの鉢はウッドデッキの改修工事で隅の方に追いやられ、廃棄同様になっていましたが11月末に元の位置に戻ってきた鉢には2本の元気な緑の姿が！！

この夏から秋にかけて何回も植物の力から『諦めかけた中でも挽回で奇跡が起こる事』を目の当たりしました。そんな植物のパワーをおいしく身体に取り入れ、いい事ありそうやなあ！ と前向きになれた出来事でした。

（文責 竹田悦子）

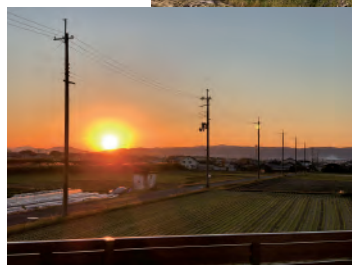
こっから17年目のリニューアル!



Before



After



経年劣化により危険防止のためここ数年は立ち入り禁止になっていたウッドデッキが、新たに人工芝の屋外スペースとして生まれ変わりました。こっから祭が初披露となり、早速ご来場くださった人たちの憩いの場として活躍してくれました。デッキから見る夕景は、まさに「せつなくてせつなくて胸が痛むほど」美しい、隠れた絶景ポイントです。新生こっからと季節の風景を楽しみにぜひ遊びに来てください!

ありがとうございました!♡♡♡
寄 贈

♡ザ・ビッグエクストラ 大安寺店様より

毎月11日に実施されている黄色いレシートキャンペーンで、こっからのBOXに投函していただいたレシートの合計金額1%相当のイオンギフトカードをご寄贈いただけるとのことです。10月23日に贈呈式に行ってきました。法人内の施設の活動等で使用する物品の購入に活用させていただきます。ありがとうございました。



編集後記

「こっからの♡、はどうしてカタカナなんですか?」

毎年、見学や研修で来られるたくさんの方から、質疑応答の時に決まって聞かれる言葉です。設立から16年経った今もそれは変わらず、皆さんの心の中に小さな「?」が生まれ会話がひろがります。

念願だった施設建設が実現し、様々な事柄を決めていく論議の中で、難航したのが名前選びでした。折角だから何処にもないような、できればずっと覚えてもらえるような、そんな名前をと数えきれない候補が挙がりましたが、どれも決めに欠け何日もみんなで悩んだことを今も覚えています。施設建設はゴールではない。新しい『この場所から』、みんなの夢や希望が生まれ、願いが育まれ、未来がひろがっ

ていく…。そんな施設になるようにと出された『ここから』という案を現後援会会長の藤森先生が関西らしく『こっから』に、そして「っ」をカタカナしようと提案されました。「なぜ?」っていう、ちょっとした違和感、ひっかかりが大切なんだ。そこから関心と対話が生まれ、ひとの記憶に残っていくから。何より、世界でひとつしかない名前になる。」

先日読んだ小説に「命名とはすなわち願いをこめること…」という一節がありました。こぶしの会、ここに、すたあと、ぐうぐうハウス、ひまわり、かたつむり…。みんな仲間といっしょに考え歩んできた大切な名前。時々そこに込められた、願いや誓いみたいなものに思いを馳せてみよう。
(古木一夫)

こちらも
ご覧下さい

<http://kokkara.jp/>

・ネットショップ ・活動ブログ
・ニュースブログもお楽しみ下さい。



こっから facebook